

ライフステージに応じた支援

この図は、施策の方向性Ⅰ「全ての市民が、誰一人取り残されることなく、安全安心に暮らせる社会の実現」に関する主な施策をライフサイクルに沿って示したものです。



ことばの支援

千葉市には、さまざまな国籍・地域の外国人市民が住んでいます。必要な情報が届くように多言語・やさしい日本語での発信に取り組みます。また、外国人市民の日本語や日本の文化や慣習などに関する理解を促進するため、日本語の学習機会を幅広く提供します。



【日本語学習支援の強化(小・中学校での学習支援)】

- 外国人児童生徒指導協力員の派遣
- 外国人児童指導教室の設置
- 日本語指導通級教室の設置 **【拡充】**
- 日本語指導担当教員の配置 **【拡充】**

○公立夜間中学の設置 **【新規】**

【多言語・やさしい日本語による発信】

- 公式ホームページの多言語化
- SNSによる情報発信拡充 **【新規】**
- AIチャットボットの導入 **【新規】**
- 行政手続(届出・申請)、手引きの多言語・やさしい日本語表記 **【新規】**
- 公共施設等の多言語表記
- 転入者向け案内リーフレットの作成 **【拡充】**

【日本語学習支援の強化(小・中学校以外での学習支援)】



- 日本語教室のスキルアップ支援(指導者・支援者育成) **【新規】**
- 日本語教室の支援 **【新規】**

○1対1日本語学習、オンライン日本語学習の実施

○生活者のための日本語教室モデル運営・カリキュラム作成 **【新規】**

○外国人介護職員のための日本語教室

くらしの支援

【通訳・翻訳支援】

- 公立保育所への通訳者(保育補助職員)配置及び当該通訳者の市内保育所等への派遣
- 保育所等における多言語通訳・翻訳機の購入支援

○コミュニティ通訳・翻訳サポーター制度の運営

【相談機能の拡充】

- 行政窓口の多言語・やさしい日本語通訳システム整備 **【拡充】**
- 相談ツール拡充(LINE相談の実施) **【新規】**
- 〈再掲〉行政手続(届出・申請)、手引きの多言語・やさしい日本語表記 **【新規】**
- 行政職員のためのやさしい日本語研修



外国人市民の定住化の傾向に伴い、外国人市民が地域において安全・安心に生活するために、相談機能の拡充、通訳・翻訳支援、子どもの教育、就学・就労などライフステージに応じた支援の充実に努めます。

【生活支援】

○市営住宅入居時の情報提供、セーフティネット登録住宅等の民間賃貸住宅の紹介

- 就労支援
 - ・専門家による労働相談の機会提供
 - ・高校生・大学生向け就職セミナー **【新規】**

○就学支援(高校進学ガイダンスの支援) **【新規】**

○弁護士への法律相談



災害時の支援

【災害発生時の支援】 ○災害時外国人支援センターの運営 ○多言語防災メール ○感染症流行時における情報提供の強化

【防災の周知】 ○防災教室の開催 ○外国人のための防災ガイドブックの発行、充実 ○多言語対応ハザードマップの作成



施策の方向性Ⅱ「個人を尊重し、国籍や言語・文化の多様性をまちの力にすることで、誰もが生き生きと活躍できる社会の実現」については、ライフサイクルの各年代に共通して取り組んでいきます。